長野工場 CSRレポート

長野工場　事業内容： 油圧ホース金具および自動車用ホース金具の部品製造、セルフシールカップリング組み立て
敷地面積： 28,169m²
従業員数： 188人（2014年6月現在）
所在地： 〒399-3102　長野県下伊那郡高森町吉田548

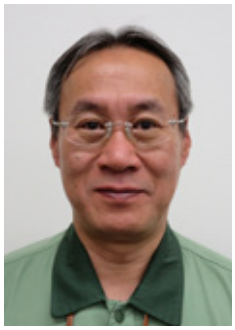
長野豊丘工場　事業内容： 油圧ホース組立て、自動車用ホース組立て
敷地面積： 19,809㎡
従業員数： 152人（2014年6月現在）
所在地： 〒399-3201　長野県下伊那豊丘村河野9100番地

相談・苦情などの受付窓口：
工場管理課　TEL：0265-35-3211　FAX：0265-35-6884
メールアドレス：m.kuri@mta.yrc.co.jp

長野工場

2014年2月に竣工した長野豊丘工場

工場長ご挨拶


前沢　昇

南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然豊かな長野県高森町に、1961年に設立された横浜ゴム(株)唯一の金属製品加工工場です。多軸自動盤、NC旋盤をはじめとする工作機械を備え、油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立てを主力生産品目とし、国内外の系列工場への供給と、全国のお客さまへ製品供給させていただいております。また、2014年2月には長野県豊丘村に長野豊丘工場が竣工。平塚東工場の事業を移管し、油圧ホースの組立、自動車用ホースの組立を中心に、生産を開始しております。長野県の豊かな自然と融合した事業所運営を目指し、当社の「環境GD100」で掲げている「トップレベルの環境貢献企業」の達成に向け、金属製品加工に伴う切削屑の完全リサイクル化、工法改善による切粉屑の削減および産業廃棄物の削減活動に取り組んでいます。2012年7月には金属屑を「ブリケット化」する設備を導入し、製品として販売を行うことで産業廃棄物総量の70%削減を達成しました。省エネ活動については、従業員一丸となり工場、家庭での身近な省エネ活動を推進するほか、工場内設備の省電力タイプの導入、更新を行い地球温暖化防止への取り組みを活発に行っています。「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクト活動も、長野豊丘工場への展開を検討し、さらなる杜の拡大を図るとともに、地域コミュニケーションとしても地域への「杜」の活動拡大を推進していきたいと計画しております。また、2013年度からは生物多様性保全活動を開始しており、大島川や天竜川の植生や生物の調査を行い、保全活動につなげます。
今年で3回目となった、岩手県大槌町で開催される横浜ゴム主催の「平成の杜」植樹会には、長野工場からも3名がボランティア参加しました。毎年開催される地域を流れる天竜川河川清掃（環境ピクニック）には区割責任者として積極的に参加しています。また、「中高校生の職場体験学習」を体験する中から、当社の環境保全活動の取り組みを理解いただく機会を設けています。地域コミュニケーション活動をさらに充実させていきます。
地域の皆さまと共に従業員や従業員家族が一丸となってトップレベルの環境貢献企業を目指していく所存です。

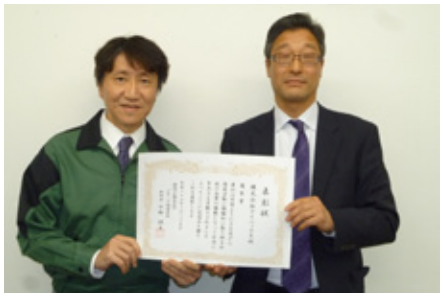
組織統治

工場の意思決定は、安全衛生については安全衛生委員会、環境については環境・省エネ会議、品質については品質会議と、それぞれの分野で毎月開催される会議体において決議していますが、全体的な部分では課長会やフォロー会を随時実施し、意思決定しています。これらの会議体で決定された事項については、日々の連絡会や、毎月初に開催している工場長朝礼にて従業員への周知を図っています。

人権

調達先のCSR教育

3月25日調達先とのCSR勉強会を長野工場食堂で実施しました。13社13人が、2時間の勉強会に参加しました。今回、株式会社アイパックスが他社の模範となるCSR活動を行っているということで表彰をさせていただきました。



2014年1月30日には購買連絡会が湘南セミナーハウスで開催され、ホース配管事業部の関係する業者50社66人が参加しました。CSRについて当社からの説明を実施しました。

労働慣行

長野工場安全衛生方針

長野工場安全衛生方針

基本方針

安全衛生は全ての基本である
管理者と監督者の強力なリーダーシップと
全従業員及び 構成員の協力の下に
労働災害防止と快適な職場づくりと健康づくりをめざす

安全衛生方針

1. 全従業員及び構成員一人ひとりが安全衛生を全てに優先させ　全ての職位・職制の参加と行動と協力の下に 安全衛生活動の向上を図る
   1) 職場の一人ひとりは　職場の決め事を確実に守り安全に徹した作業を行う
   2) 管理者･監督者は､不安全状態・行動を黙認することなく 部下の安全を守る責務を負う　また行動に当っては 安全に対する自らの姿勢を明確に示すと共に 三現主義(現場・現物・現実)に徹し 職場の実態を自ら把握する
   3) 過去災害を定期的に振り返り､風化させず､再発防止を徹底する
2. 安全衛生に係わる法令・規程・行政指針への積極的な適合をはかり､事業所に定めた安全衛生規程等を遵守する
3. 全従業員及び構成員に対して　安全衛生の重要性を周知し 必要な教育・訓練を実施する
4. 労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) の適切な実施及び運用により作業と設備に係わる潜在的危険を排除するため PDCA を回し 継続的なﾘｽｸ低減を図る
5. 整理整頓は安全衛生の基本である"との考えをもとに ２Ｓを徹底する
6. 安心して働ける快適な職場環境づくりを通じて健康の確保を図り 従業員の健康状態に配慮した健康づくりを支援する
7. 自動車産業の一翼をになう企業として 交通事故防止に取組む

救急救命講習

普通救命講習会を2月から9月にかけ計7回開催し、新たに37人が資格を取得しました。

・2月14日救命救急講習　5人　・3月19日救命救急講習　5人
・4月23日救命救急講習　5人　・5月16日救命救急講習　6人
・6月18日救命救急講習　5人　・8月21日救命救急講習　5人
・9月25日救命救急講習　6人

防災訓練

防災訓練を2013年10月16・17・21日にかけ計4回実施し、合計259人が参加しました。

全従業員による避難訓練風景

従業員による消火栓放水訓練

従業員による消火器訓練

環境

長野工場環境方針

横浜ゴム株式会社　長野工場　環境方針

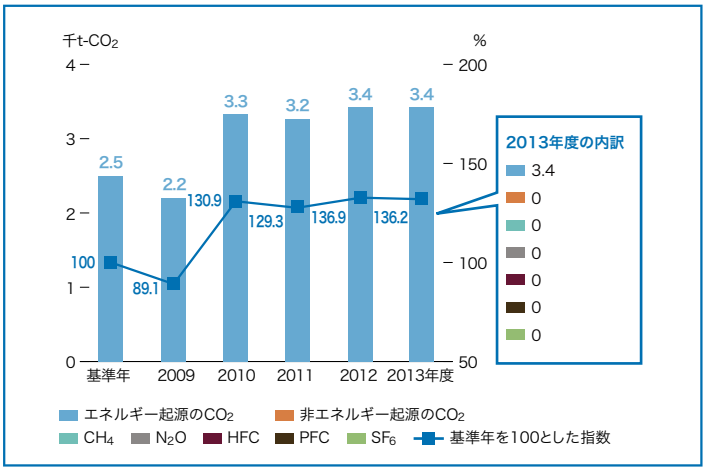
経営方針に示された「社会に対する公正平さと環境との調和を大切にする」を規範としてトップレベルの環境貢献事業所になります。

1. 長野工場は、生産から廃棄に至るあらゆる段階で環境負荷の低減に取り組みます。
2. 信頼される工場として、環境汚染・感覚公害の予防を図り環境改善を継続的に推進します。
3. 地球温暖化防止、省エネルギー、省資源、資源循環により循環型社会及び低炭素型社会の実現に取り組みます。
4. 当工場に関連する、法規制及び協定等を遵守し継続的に環境保全活動に取り組みます。
5. 当工場の環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画を作成し実行します。
6. 工場の全従業員及び構成員が本環境方針を理解し行動するよう教育と啓発を行い周知を図ります。
7. 地域とのコミュニケーションをはかり、“YOKOHAMA 千年の杜”活動を含め、地域に貢献する活動を進めます。
8. 生物多様性の保全活動として地域のかけがえのない自然保護・再生に取り組みます。
9. 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表します。

環境データ〈長野工場〉

■温室効果ガス排出量の削減

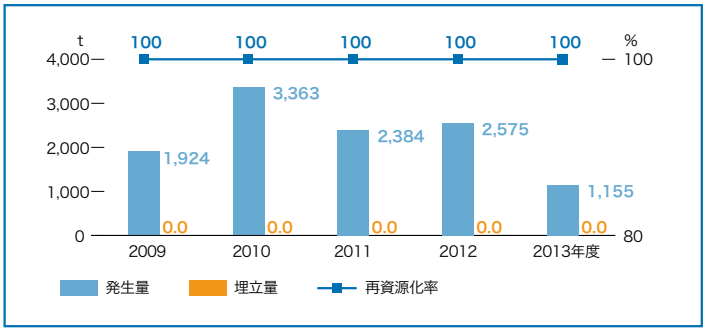
長野工場の総温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



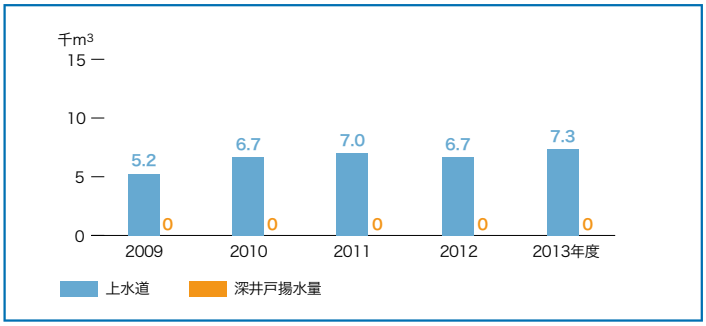
※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF_6は1995年としています。
※温室効果ガス（GHG）の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

■資源の有効活用／廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

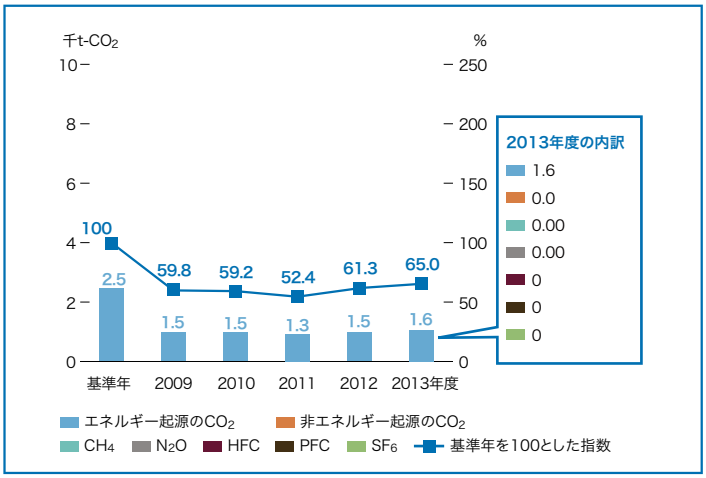
項 目	規制値	自主管理値	2013年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.8～8.6	–	6.5	6.6	6.3
BOD濃度（mg/l）	160	22	16.0	18.0	13.0
COD濃度（mg/l）	160	25	9.0	9.0	9.0
SS濃度　（mg/l）	200	–	22.0	23.0	21.0
油分濃度（mg/l）	5	–	0.55	0.6	0.5

※法規制対象外（自主管理測定、2回以上／年）
※規制値は長野県条例
※2011年度実績値は2011年1月～2011年12月。
※排水先　大島川

平塚東工場の生産機能を2014年2～5月にかけて長野豊丘工場に移管しました。参考として、2013年度の平塚東工場の環境データを当工場のサイトレポートで紹介します。

環境データ〈平塚東工場〉

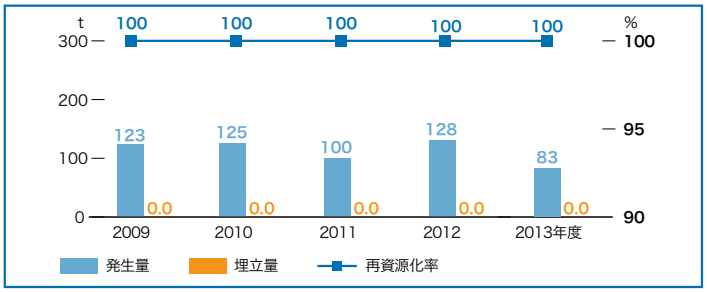
■温室効果ガス排出量の削減



※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF_6は1995年としています。
※温室効果ガス（GHG）の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

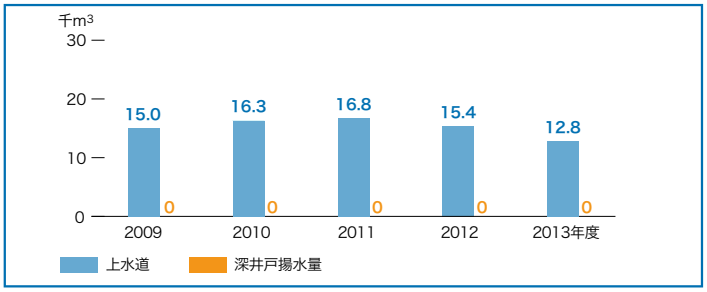
■資源の有効活用／廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量

2013年度実績は、12,812m³でした。



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

項 目	規制値	自主管理値	2013年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.7～8.7	6.2～8.5	8.1	8.3	7.9
BOD濃度　（mg/l）	300	150	41	74	17
SS濃度　（mg/l）	300	150	7	10	5.1
油分濃度　（mg/l）	30	20	2	3.2	1.0

※平塚市下水道条例に準拠

環境

化学物質の管理状況についての報告（PRTR法への対応）

長野工場

(単位: t／年)

政令番号	対象化学物質	取扱量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響度評価 Ⅷ-5※4 有害性ランク（人）	年間換算排出量（人）	有害性ランク（生態）	年間換算排出量（生態）
400	ベンゼン	0.002	0.000	0.002	A	0.000	C	0.000
405	ほう素化合物	0.000	0.000	0.000	D	0.000	記載なし	0.000
	総合計	0.002	0.000	0.002	—	0.000	—	0.000

※1：PRTR対象化学物質の年間取扱量が、指定量以上の場合は届出対象
※2：排出量＝大気＋公共用水域＋土壌
※3：移動量＝廃棄物−公共下水道
※4：排出量に有害性ランクを掛けて換算排出量を算定
安全性影響度評価の基準については、「国内生産拠点の安全性評価表」をご参照ください。
（http://www.yrc.co.jp/csr/data/pdf/16kokunaikyoten.pdf）

平塚東工場

(単位: t／年)

政令番号	対象化学物質	取扱量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響度評価 Ⅵ-5※4 有害性ランク（人）	年間換算排出量（人）	有害性ランク（生態）	年間換算排出量（生態）
80	キシレン	0.004	0.004	0.000	C	0.041	C	0.041
187	クロム及び三価クロム化合物	0.001	0.000	0.001	記載なし	0.000	記載なし	0.000
186	塩化メチレン(ジクロロメタン)	0.460	0.460	0.000	B	46.000	C	4.600
300	トルエン	0.014	0.014	0.000	B	1.350	C	0.135
283	フッ化水素及びその水溶性塩	0.005	0.005	0.000	D	0.005	記載なし	0.000
304	ほう素及びその化合物	0.014	0.014	0.000	D	0.014	記載なし	0.000
	総合計	0.497	0.497	0.001	—	47.410	—	4.776

※1：PRTR対象化学物質の年間取扱量が、指定量以上の場合は届出対象
※2：排出量＝大気＋公共用水域＋土壌
※3：移動量＝廃棄物−公共下水道
※4：排出量に有害性ランクを掛けて換算排出量を算定
安全性影響度評価の基準については、「国内生産拠点の安全性評価表」をご参照ください。
（http://www.yrc.co.jp/csr/data/pdf/16kokunaikyoten.pdf）

天竜川環境ピクニック（ゴミ拾い）参加

毎年参加している天竜川環境ピクニック（ゴミ拾い）が6/2に開催されブロック責任企業として参加企業のまとめ役を果しました。また初回開催から参加している事に対して第20回の節目にあたり主催者の長野県テクノ財団から感謝状を頂きました。（大人32人、子供4人参加）

千年の杜第6期植樹会

10/11　第6期植樹会を開催。
植樹本数638本、参加者43人
外部への苗提供を70本実施した。

生物多様性保全活動

2013年度の生物多様性保全活動は初夏、夏、秋の3回実施。長野工場から雨水排水している大島川の下流および天竜川合流付近を調査。豊丘倉庫はから雨水排水している寺沢川下流と河野親水公園農業排水路をそれぞれ調査した。

公正な事業慣行

法令順守の徹底

環境事故、環境トラブル、環境重大ヒヤリの発生はありませんでした。
また外部からの苦情の情報もありませんでした。

消費者課題

工場見学の受け入れ

2月4日、地元で就職を考えている高校生2年生の工場見学の受け入れをしました。参加者数は44人。横浜ゴムの会社概要を説明後、現場見学を行いました。日頃、目にする事のない設備を見て興味津々の様子でした。見学後の質問では、「どういう人材を求めていますか?」など積極的な声があがりました。

養護学校工場見学受け入れ

2月22日、養護学校の生徒、保護者の方の工場見学を受け入れました。学校卒業後の就職先を考えるため、親子で見学しました。見学後、質問を受けましたが、「自分たちにも出来る仕事があるのか」など前向きな意見が出ました。参加者数は16人。

消費者課題

知的障がい者施設の販売支援

知的障がい施設の生徒さんとの交流を図っています。
11月9日に地元のふるさと祭り（農協祭）に施設で作った野菜などの販売を支援。4人参加。
また12月には工場食堂で生徒たちが作った野菜や花などの物資を販売するのを手伝いました。
素直な心の生徒さんたちとの交流にお手伝いする私たちも刺激され、大きな声でお客さんに呼びかけしました。

献血

5月21日　献血実施　44人

町村との関係

高森町環境基本計画推進会議委員の委託を受け、1人参加しています（任期2013/11/1～2015/10/31）。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

ボランティア参加

岩手県大槌町「平成の杜植樹祭」へのボランティア参加者　3人
毎年6月頃開催する「天竜川環境ピクニック（ゴミ拾い）」に初回開催から参加している事に対して第20回の節目にあたり主催者の長野県テクノ財団から感謝状を頂きました。

感謝状

住民懇談会

1/27　高森町吉田地区常会：2人参加（地域住民約30人）
2/末　豊丘村河野八王子地区自治会新工場建築説明会（工場長・建築会社1・村長1・副村長1・区長1・地域住民20人）
4/初　豊丘村豊丘区議会にて新工場建築説明（工場長・建築会社1・村長1・副村長1・地域住民40人）
5/初　新工場建築現地説明会（豊丘村）（工場長・建築会社6・村長1・副村長1・村課長1・村土木担当1・地域住民80人）

地域への寄付活動

豊丘村田村諏訪神社獅子舞、豊丘村河野地区大祭、市田灯篭流し協賛金、吉田神社奉納花火、長野県縦断駅伝支援金、赤い羽根募金の寄付を行いました。

潮干狩りツアー

労使協賛の潮干狩りツアーを5月26日に実施しました。天候に恵まれ、大きな貝を拾って大喜びする子どもたちの声が青空に響きました。また、日ごろ、交流の機会の少ない従業員同士やその家族も狭いバスの中でしたが、コミュニケーションを図ることが出来、明日への活力になったのではと思います。
参加者（大人23人、子供10人）

ペットボトルキャップの回収

1年間で約32,000個を回収し、約40人分の子どものワクチンになり命を救う事ができました。

工場周辺ごみ拾い

2013年7月より地域貢献を目的に、工場周辺公道のごみ拾い活動（3コースの繰返し）を開始し、月1回年間通しての活動を実施しています。
職場単位で職制を中心に5Sゾーン責任者を置き、各ゾーンから数人の参加協力を得て、既に10回延べ123人の参加にて総回収量14kgとなっています。